

team hat Magazine

hat | 橋本総業ホールディングス 2023 VOL.3

トップジュニアと打ち合い 「負けていけない!」



全国小学生に出場する選手たちと打ち合った

第1部の参加ジュニアとプロたち



暑い中、休憩を入れながら実施した



第2部の参加ジュニアとプロたち

小学生の頂点を決める「第一生命全国小学生テニス選手権大会」のプレイベントが、第一生命保険株式会社と協同で7月31日に第一生命相模園テニスコートにて実施され、橋本総業ホールディングスの契約プロが、大会に出場する選手たちと打ち合った。

参加したプロは、大前綾希子、森崎可南子、小関みちか、井上雷都、井上明里、杉山記一、吉田友佳ら7名。レッドクレーコート4面を使用し、25名のトップジュニアを1部と2部に分け、各1時間半、じっくりとストローク、ボレーといったラリーの相手役を務めた。

大前綾希子は、「ボールを打つ間の取り方や、ボールのタッチ力そしてクレーコートでは重要なコートを広く使うアイディアなど、もうすでに、きっちりとした土台ができていま

した」と、参加ジュニアのレベルの高さに驚いた様子。同様に技術の高さを認めながらも井上雷都は、「熱い気持ちでプレーをするという観点からみると昔と比べて少なくなったかなと思いました」と、素直な感想も述べた。

小関みちかは、「大会前に実際の試合コートでプロと練習できるというのは、出場選手にとって良い機会だったと思います」とプレイベントの効果について語り、「私たちも負けていけない!ととても刺激になりました」と、プロにとってもプラスになったようだ。

ジュニアにとってプロと打てる機会は、貴重な経験となったことは間違いない。これからどう成長していくのか。井上は「世界に羽ばたく人材が出てほしい」と有望ジュニアにエールを送った。

TEAM HAT2チームが 決勝戦で激突!

北海道で開催された団体戦にTEAM HATから2チームが出場。
両チームともしっかりと勝ち上がり、決勝戦で相まみえることになった。

「中川昭一杯 第34回ナイス・サマーテニスフェスティバル」が8月6日(日)に、北海道の帯広の森テニスコートで開催された。

この大会はダブルスの団体戦で、男子ダブルス、女子ダブルス、フリーダブルスの3ポイントで戦われる。フリーダブルスでは男子ダブルス対女子ダブルスやミックスダブルス対男子ダブルスというカードもありえるという、ユニークなシステムになっている。ただし、重複して出場はできないため、必ず6名以上のメンバーで臨まなくてはならない。

この大会に、TEAM HATから2チームが出場した。橋本政昭会長が率いる「TEAM HAT 1」には財団評議員の方々

も参加。「TEAM HAT 2」には、大会名にもなっている故・中川昭一氏の奥様であり、北海道11区の代議士である中川郁子(ゆうこ)さんがメンバーに加わった。

他にもこの2チームには、橋本総業ホールディングスの契約プロに加えて、北海道支店の社員も参加してチームを結成し、大会に挑んだ。

気合いの入ったメンバーで臨んだかいがあり、決勝戦はTEAM HAT対決に。団体戦ならではの盛り上がりを見せながら、「TEAM HAT 1」が熱戦を制して頂点に立った。TEAM HATは、チームの団結力を強めると共に、大会の活性化にも貢献できたようだ。



大会に出場し優勝、準優勝となった
TEAM HAT 1と2のメンバー

TEAM HAT 1 メンバー

橋本政昭会長
竹中一夫氏
丸山真貴子さん
吉川敦文氏
小関みちかプロ
斉藤貴史氏
井上明里プロ

TEAM HAT 2 メンバー

中川郁子代議士
川島清子さん
杉山記一プロ
井上雷都プロ
岡本加奈さん
佐々木進弥氏
田中真梨

T O P I C S

岡村と小堀が日本代表に!

9月24日(日)～30日(土)に中国・杭州で行われる「第19回アジア競技大会テニス競技」に、岡村恭香が女子シングルス、小堀桃子が女子ダブルスとミックスダブルで日本代表としてプレーすることが決定! 活躍が期待される。

グランドスラムに次ぐ大会で 柴原瑛菜が複優勝!

多くの契約選手が活躍しているが、その中でも注目は柴原瑛菜。なんとグランドスラムに次ぐグレードの WTA1000 の「ナショナルバンク・オープン」でダブルス優勝を果たした。パートナーは青山修子で、今シーズン2大会目の優勝である。柴原 & 青山ペアは今年の全豪オープンでは準優勝している。

柴原 瑛菜

Ena Shibahara

WTA1000

カナダ・モントリオール
8月7日～8月13日
ダブルス優勝

WTA1000
DOUBLES
優勝



WTA250

オランダ・
ステルトーヘンボス
6月6日～6月12日
ダブルス優勝

WTA250
DOUBLES
優勝



瀬間 詠里花

Erika Sema

ITF W25
DOUBLES
優勝

ITF W25
中国・香港
6月26日～7月2日
ダブルス優勝



ITF W25
タイ・
ナコーンシータンマラート
7月3日～7月9日
ダブルス優勝

ITF W25
DOUBLES
優勝



ITF W25
カザフスタン・アスタナ
7月31日～8月6日
ダブルス優勝

ITF W25
DOUBLES
優勝



SBC Dream
Tennis Tour
準優勝

SBC
ドリームテニスツアー
1ST ステージ
日本・兵庫
7月22日～7月23日
シングルス準優勝

奥脇 莉音

Rinon Okuwaki

ITF W15
DOUBLES
初優勝

ITF W15
アメリカ・ロサンゼルス
6月19日～6月25日
ダブルス優勝



ITF W15
SINGLES
準優勝

ITF W15
日本・札幌
7月31日～8月6日
シングルス準優勝



森崎 可南子

Kanako Morisaki

ITF W40
DOUBLES
準優勝

ITF W40
中国・香港
7月3日～7月9日
ダブルス準優勝



福田 創楽

Sora Fukuda

ITF M15
SINGLES
優勝

ITF M15
インドネシア・ジャカルタ
6月19日～6月25日
シングルス優勝



中川 直樹

Naoki Nakagawa

ITF M25
SINGLES
準優勝

ITF M25
アメリカ・ディケーター
7月31日～8月6日
シングルス準優勝

松田 美咲

Misaki Matsuda

World
University Games
銅メダル

ユニバーシアード 2023
中国・成都
7月29日～8月6日
団体・ダブルス銅メダル



渡邊 聖太

Seita Watanabe

ITF M25
DOUBLES
優勝

ITF M25
ドミニカ共和国・
サントドミンゴ
6月26日～7月2日
ダブルス優勝





働くスキーヤー **ASAMI** のコラム

橋本総業 HD 社員として働くアルペンスキーヤー片桐麻海が、スキーの魅力を楽しく、わかりやすく伝えます！

Photo: WATANABE Shin



NZ遠征とシーズンスケジュール

こんにちは。橋本総業ホールディングス株式会社所属、アルペンスキーヤーの片桐麻海です。

8月は20日間ほどニュージーランドへ雪上トレーニングに行き参りました。成田空港からオークランドへ、オークランドからクライストチャーチへ向かう2便

に乗り、拠点となるフェアリーという小さな町に向かいました。

ニュージーランドは南半球に位置し、現在の季節は冬になります。標高の高い山には雪が降っており、下町から車で30分ほど移動し、日々の雪上トレーニングに励みました。

本格的なシーズンインをする前に雪上に立てたことで、オフシーズンに陸上で感じられない感覚を呼び戻し、より速くなるための必要な要素を今一度確かめることができました。この遠征で得られた感覚や意識はこれからのトレーニング内容やモチベーションに大きな影響があると感じています。シーズンインまで約1か月、更なるレベルアップができるように努めて参ります。

今シーズンは左図のスケジュールのように、アジアで行われるFar East Cup(FEC)などの主要大会を転戦します。

FECとは、中国、韓国、日本で行われる極東のチャンピオンを決めるポイント大会です。アジアを中心としたトップ層の選手が集まり、FECポイントを獲得することで総合点を争うシリーズ戦です。FEC大会で良い成績を修めることはWorld Cupに出場する個人権利の獲得へと繋がります。また、このような高レベルな大会に参加することは、アルペンスキーの基準値となるFISポイントを下げるチャンスに繋がります。FISポイントは0点に近いほど世界ランキングが高い指標となります。

これから世界の舞台で戦うためにはFISランキング(世界ランキング)を100位以内に引き上げる必要があります。まずは、今シーズンに参戦が決まっているFECで総合チャンピオンになることで目の前の目標を達成していきたいです。

PROFILE

片桐 麻海 Asami Katagiri

1999年7月13日 北海道生まれ。5歳からアルペンスキーを始める。青山学院大学卒業。中学1～3年生までU16強化指定選手。高校1年生の2015/16シーズンに全日本スキー連盟強化指定選手。全日本スキー選手権大会大回転3位。



真冬のニュージーランド・フェアリー(Mt.ドブソン)で雪上トレーニングに励みました

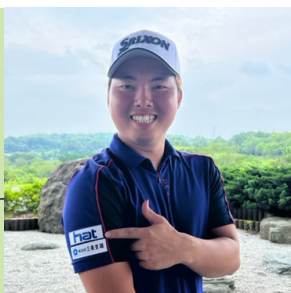


契約選手紹介

GOLF

ゴルフ

野口 裕太
Yuta Noguchi
東京都出身/23歳



team hat Magazine 2023 vol.3

発行：橋本総業ホールディングス株式会社

編集：Tennis.jp

デザイン：鷲見善弘(こうぼく堂)

●本誌掲載の記事、写真、イラストなど全ての無断掲載、複写を禁じます。